

No.24-10 2024年8月1日
発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部
【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>
メール:union@r05.itscom.net



参加労組 & 組合員が主役 5年ぶり開催の「Summer Meeting2024」

7月20日(土)、目黒労協主催の「Summer Meeting2024(労組交流&組合員懇親会)」が、東工大キャンパスの生協食堂「つばめテラス」で行われ、7労組・26名の組合員の皆さんが参加しました。この「ミーティング」は、2019年に第1回目を開催し、コロナ禍で4年間中断されていたもので、ようやく5年ぶりに再会されたものです。「ミーティング」の前半は、5労組からのパワーポイント&プロジェクターを使用した労組発表。後半はアルコールを含む飲食パーティーで、参加者全員の懇談・交流を行い、中には組合単位での交流も大いにすすめられていました。5年ぶりの実施で、初めての参加の方も多くおられ、「ぜひ、また開催を」とのご意見もいただきました。以下、参加された労組の感想を、今号および次号の2回に分けて紹介します。

(※各労組「発表要旨」は、労協HPに掲載しています)

パスコ労組

新鮮なミーティング情報、労組内でも共有したい

前回(2019年)開催時は参加出来なかったため、現体制となって初めて参加させて頂きました。労協執行委員会やレク等で顔合わせはしてはしましたが、各労組がどのような活動をしているのか、具体的に知る機会が無かったため、非常に新鮮なミーティングとなりました。

懇親会では、普段話す機会のない方との、貴重な会話やご意見を伺え、とても参考になりました。ミーティングでの内容を、パスコ労組内で共有するとともに、得られた情報については今後の組合活動に活かしていきたいと思います。この度はありがとうございました。(パスコ労組/書記長)



東京土建目黒支部

労働組合の「平和活動」を一緒に取り組みましよう！

労協サマーミーティング2024には、東京土建目黒支部からは8人が参加しました。あらためて、産業別組合と企業別組合の活動を知る事が出来ました。東京土建は組織も大きく、自身が直接携わっている取り組みはもちろん、その他の取り組みを説明することで、自分たちを再認識することのできる、非常にいい機会と感じました。

限られた時間での報告となりましたので、興味を持ってもらえる活動報告が出来たか不安です。

今回紹介した活動は、誰もが参加可能な社協と共闘する区民集会、毎週木曜のピースウォーク。予算要求集会や住宅デー、区職労でも「数は力」と言っている拡大行動など。また、11万人・36支部の東京土建の中でも、特に目黒支部が力を入れている、全都に誇る平和活動「沖縄プロジェクト」についても報告しました。戦後の労



組結成時に、建設労働組合の創設者の一人で石工・伊藤清氏が発した、「建設労働者の腕や知識は絶対に戦争に利用させてはいけない。建設産業というものは、平和であってこそ『社会的有用産業』として発展することができる。平和でなければ建設産業は駄目なんだ」、という言葉に胸に活動に取り組んでいます。

ロシア・ウクライナやイスラエル・ガザを見ればわかる様に、市民のいのちと暮らしが巻き込まれていきます。憲法九条を大切に、軍事でなく社会保障に充てさせることで、身体が資本の建設業が望む要求となっていきます。引き続き

き平和を求めて東京土建は立ち上がります。ご興味ある方は是非一緒に活動しましょう！

(東京土建一般労働組合/書記次長)

大東通信機労組

若手が多く活力ある組合、団結を深めていきたい！

2024年7月20日 東京工業大学 大岡山キャンパスにて、目黒労協主催の Summer Meeting に参加しました。

各労働組合の紹介プレゼンを拝聴し、それぞれの組合に長い歴史があり、また様々なイベントを催されることに、とても関心を持ってました。組合員の働く環境をより良いものにするために、雇用制度の見直しをはじめ、賃金改善、フレックス制度等、会社と闘っているようで、大東通信機労働組合にも、まだまだ改善の余地はあると思いました。各労組の催し物について、日本各地に支部を持つ労働組合はそれぞれの地域に密着したイベントが行われており、写真を見ると皆さま楽しそうに参加している様子がうかがえました。

私は、大東通信機労働組合の執行部に所属して2年目になりますが、今回このような外部イベントに参加したのは初めてでした。大東通信機労働組合は少人数ではあるものの、若手が多く活力もあるので、様々な活動を通じて、組合員の団結を深めていきたいと思います。

(大東通信機労働組合/副執行委員長)



ピースウォークinめぐろが850回！

「戦争反対、憲法改悪反対、憲法9条守ろう！」を訴え

「ピースウォーク in めぐろ」は、2003年のイラク戦争反対をきっかけに始まり、その後、自衛隊の海外派兵反対や、中目黒の防衛技術研究所のプルトニウム撤去などを求めてきました。そして今年の7月11日に850回を迎えました。2003年3月20日、イラクのサダム・フセイン政権が、「大量破壊兵器を保有しさらに無条件査察に応じない」などを理由に、米・英軍を中心とする有志連合国軍が、国連安保理決議を経ずにイラクへの攻撃

を開始しました。そういう中、目黒区内で戦争反対の声が起き、区内の労働組合や民主団体などで、実行委員会を立ち上げ、2003年4月6日に目黒川舟入場公園で集会を行い、4月17日(木)から昼休みデモ(ピースウォーク)が始まりました。

当時の小泉政権は、2003年7月にブッシュ米大統領の違法なイラク戦争にいち早く賛同し、国会でイラク復興特別措置法を成立させ、自衛隊をイラクに派遣しました。2004年1月に、陸上自衛隊先遣隊がイラクのサマワに到着。さらに2006年12月、航空自衛隊先遣隊に派遣命令を出し、イラン・クウェートに派遣。その後、自衛隊を使って物資や武装した米兵を、バクダッド等に輸送する憲法違反の活動が行われました。しかし2011年12月、米国はイラク戦争の終結を宣言し、イラク戦争が誤りだったことも認めましたが、日本政府はいまだに検証・反省をしていません。以降も争いごとは世界各地で存在し、その火種がくすぶっているところも少なくありません。



コロナ禍で一時的に中断もありましたが、2020年2月のロシアによるウクライナ侵略が始まった頃、東京土建目黒支部などの呼びかけで再開され、今に続いています。反戦・平和のアピール行動は、憲法で保障された私たちの権利です。これからも「戦争する国“絶対反対”」、「変えるな平和憲法」などを訴えて、ピースウォークを続けていきましょう！（めぐろ平和委員会/事務局長）

3回めの沖縄で感じたこと 土建目黒支部・沖縄プロジェクトに参加しました

6月27日～30日、土建目黒支部主催の“沖縄プロジェクトの”に、私自身2年ぶりに参加し、沖縄の歴史と



基地工事ゲート前での搬入阻止行動

現状を自分の目で見て、自分の耳で聞くことができましたと思います。このツアーの特長ですが、普通の観光ツアーで観て回るような、地域や施設にはほとんど立ち寄りません。3日間で訪ねたところは、「佐喜眞美術館(沖縄戦の図)」、「嘉手納米軍基地」、「ガマ(集団自決)」、「辺野古の埋め立て海域(海上から)」、「米海兵隊キャンプ・シュワブ(座り込み参加)」、「コザでのフラワーデモ(参加)」、「ミサイル配備した自衛隊うるま基地」、「不屈館(瀬永亀次郎)」など。

基地工事をしているのは日本の業者、監視は海上保安庁と警備会社、警察官に機動隊員たち、沖縄県内の方も多くいます。海でのサンゴ「移植」作業は、ほとんどが地元漁民の方たちで、一部は監視作業も行っています。基地の拡大に反対する人、生活のために「仕事」に従事する人たち、この対立はとて一言で表現できません。本来なら、日本中で考えなければならない「課題」だと、強く思います。フラワーデモでの、女性たちの必死の訴え、特に少女の「なぜ沖縄はこんなことがいつまでも」の訴えは、全国の人たちに聞いて欲しい叫びでした。

米軍基地の撤去が大きな課題の沖縄で、自衛隊の基地が増えているのにも驚きでした。ミサイル配備に反対する国民も多い中、基地周辺には「国を守ってくれてありがとう、基地歓迎」の横断幕があるなど、本当に複雑な構図を感じました。新聞やマスコミ報道ではわからない、本当に深刻な状況が沖縄にはあります。自分自身、日頃の「オキナワ」への不義理を恥じ、罪滅ぼしのためにも、また来年もツアーに参加したいと思います。

(NMITU 目黒地域支部/通信員)

最低賃金50円アップでは足りない！

2024年最低賃金改定、密室の論議続く

6月25日、中央最低賃金審議会が今年の「引き上げ目安額」論議スタート。実質審議の場「目安小委員会」が7月10日、18日、23日、24日と開催されましたが、ほとんど非公開。傍聴行動に取り組むとともに、全労連・全労協などが共同する会場前の宣伝行動に毎回参加。そして7月25日「全国50円引き上げ」の目安が示されました。（詳細は目黒労協 HP 収録）



目安小委前宣伝行動（有楽町）

7月19日、最賃めぐろ労協最賃あげろ！宣伝行動



現行の東京最賃額：1113円として、最後の宣伝行動。「今すぐ時給1500円以上が必要」チラシ入りのティッシュを、13人の参加で配布しました。

7月22日、学芸大学宣伝

JMITU 目黒地域支部とめぐろユニオンによる、未組織合同宣伝行動。街の関心は高い！

7月20日、最低賃金いますぐあげろ！新宿最賃デモ

最低賃金今すぐあげろ！ 全労連、全労協、最賃キャンペーンなど、おおくの労働者が集まり、約1時間ほど新宿一周のデモ行進を行いました。



最賃決定は東京最賃審議会に

この中央最賃審議会の目安額をベースに各県審議会が各県の最賃引き上げを答申。東京の最賃は11年連続中央の目安どおりで決定しており、審議内容の情報公開も極めて不十分です。

東京地方最賃審議会への「最賃引上げ意見書」を、目黒労協も提出しました。（目黒労協 HP に収録）

今年は参加者全員で“ゲーム大会”
みんなで盛り上げよう！

団結ビアパーティー2024

- ◆9月7日(土) 土建目黒会館/正午開会 *会費3千円
- ◆別途、詳細&チラシ発行しお知らせします！